

# 令和2年度事業報告書

## 〔事業の概要〕

電気通信工学に関する学術の研究並びにその教育を振興助成し、もって我が国産業の発展に資することを目的として、令和2年度は以下の事業を行った。

### 1. 学術研究の発展に関する助成

東北大学電気通信研究所及び大学院工学研究科・情報科学研究科・医工学研究科並びに工学部における電気通信情報系関連の学術研究及び科学技術を助成する目的をもって、次の援助を行った。

イ 学術研究の発展並びに産学官連携の普及・推進を図る目的のため東北大学へ研究資金として3,500,000円の研究助成寄付を行った。

ロ 学術研究会議並びに各種研究活動に対する研究援助

電気通信研究所主催の国際シンポジウム開催（2件）に50,000円の研究援助を行った。

ハ 学術研究を目的とした電気通信情報系の各研究分野（8研究分野）の研究会活動に対して80,000円の研究援助を行った。

ニ 電気通信研究所の研究施設等、公開実験などを通じ、各研究活動および教育活動について広く市民、産業界、学内の学生等一般に公開する事業（今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン開催）に88,000円の研究援助を行った。

### 2. 東北大学への教育援助

東北大学電気通信研究所及び大学院工学研究科・情報科学研究科・医工学研究科並びに工学部における電気情報系関連の教育を振興助成する目的をもって、次の援助を行った。

イ 奨学金の援助

電気通信情報工学の学術研究の推進を図るため、大学院生（博士課程）3名に対して奨学金1,800,000円を給付した。

ロ 大学院入試等への援助

大学院入試、非常勤講師の集中講義など大学教育関連等に対して259,200円の教育援助を行った。

ハ 電気通信情報系における模擬授業・各研究分野の特設テーマ展示や高校生・受験生のための研究紹介などオープンキャンパス行事（今年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインでの開催）に92,400円の教育援助を行った。

### 3. 学術研究賞の実施

電気通信情報関連の学術研究分野において、将来を担う若手研究者の育成を目的に学術研究・科学技術の発展・推進を図るため、に優れた研究業績のあった若手研究者3名及び大学院生2名に対して研究賞を贈り表彰した。これら研究賞贈呈に係る費用として賞金、賞牌など諸費用に497,705円の経費を要した。

### 4. 産学連携による企業との連携組織の推進活動

東北大学および産業界からの協力を得て、企業フォーラムを開催し企業における研究開発の状況、研究者・技術者等の情報提供の場を設けるなど東北大学電気通信情報系の研究者・学生及び企業を交えて大学と電気通信情報系企業間との産学官連携の普及・推進活動を行った。（新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインでの開催となった。）

### 5. 研究受託の実施

令和2年度においても前年度から引続き電気通信情報分野に関して学術研究活動等を奨励促進した。